

平成 24 年度 松代公民館運営審議会 開催概要

- 1 日 時 平成 24 年 6 月 14 日 (木) 午後 2 時から 4 時まで
- 2 場 所 長野市立松代公民館 1 階 講義室 1
- 3 出 席 者 審議会委員 7 名 (欠席委員 2 名) 事務局から成立報告
公民館職員 5 名 (館長・係長・職員 3 名)
- 4 委嘱書の交付 館長より交付
- 5 公民館長あいさつ
- 6 運営審議会 会長の選任及び職務代理者の指名

委員の互選により、出席委員全員一致で、松林要氏を会長に選出。本人に了承をいただく。松林会長が、職務代理者として松代町有線放送電話農業協同組合代表理事の若狭良亘氏を指名、本人了解する。

- 7 会長及び会長職務代理者あいさつ
会 長・・・松林 要 氏
会長職務代理者・・・若狭 良亘 氏

- 8 諮 問
館長から会長へ「①平成 24 年度公民館運営基本方針について②平成 24 年度松代公民館事業計画について」の 2 点について諮問

- 9 議 事

■市条例に基づき、会長が議長となる。

① 平成 24 年度松代公民館運営基本方針について

② 平成 24 年度松代公民館事業計画について 事務局 一括説明

■質疑・意見

《成人式の運営について》

委 員：成人式の参加率が著しく低下しているが、何か理由があるのか？

事務局：対象者のカウント方法を変更したことによる。従前は、松代中学校の卒業者名簿にない新成人（16歳以降に地区外から転入者した新成人・例えば、農大・警察学校の生徒）は、対象者から除外していた。昨年度は、農大の統合により従来除外していた対象者数が増大したことが、参加率に大きく影響した。よって、参加率は低下したが、参加者数は、変わらない。

委 員：中学校の卒業者数は、減少傾向にあるのか？

事務局：クラス数も減っており、対象者数は、減少傾向にある。

委 員：少子高齢化、若年層の都市流出が課題となっている今、松代地区として、若者を大切にしなければならないと考える。

委 員：松代地区は、記念品の松代焼が住民自治協議会から贈呈されなくなるとのことだが。

事務局：予算の制約もあり、新成人にだけ記念品を贈呈するという優遇はできないとの回答である。

委 員：成人式は、一生に一回だけである。若い世代を大切にすることや、松代の思いを伝えることや、新成人に「ふるさと」を再認識してもらうためにも、自治協からの記念品をお願いしたい。

委員：自治協の予算が厳しいなら、地区の企業等にスポンサードをお願いする案は、どうか？

委員：今の経済状況では、企業からの寄付は難しい。記念品は、地域として考えるべき問題だ。ぜひ、自治協から記念品を出す方向で考えて欲しい。さらに、式典をコンパクトにする等も考えて良いのではないか。

委員：合同成人式も簡素化のひとつの手段であるが、会場が市民会館（ホクト文化ホール）だと、参加者が減少してしまうか？

事務局：現状の松代文化ホールでも、車で来場するため、その影響は少ないと思う。

委員：地元に残った新成人がアイデアを出して式典運営すると、思い出に残るのではないか。来賓の紹介や祝辞は、省略しても良いと思う。形式よりも、中身が大切。成人者が望む式典にするべきだ。

事務局：いただいたご意見を踏まえて、松代地区における成人式のあり方を検討していきたい。

《市立公民館への指定管理者制度導入について》

委員：指定管理者制度の導入は、市の業務放棄に見える。自治協や社協の職員は、人件費が年100万円・150万円とされているが、そのような額では、人材が見つからない。ボランティアでお願いしているようなものだ。

《その他の意見》

委員：公民館でIT講習をしていることを知ったが、町内において似たような講習会・事業がある。お互いに連携して事業を推進したい。

■答申内容について

議長（会長）より原案どおりでよろしいか委員へ諮る（全員一致で原案を承認）。

10 答 申 会長から館長へ「原案どおりで差し支えない」旨、答申

11 その他 特になし

12 閉 会 午後4時

以上